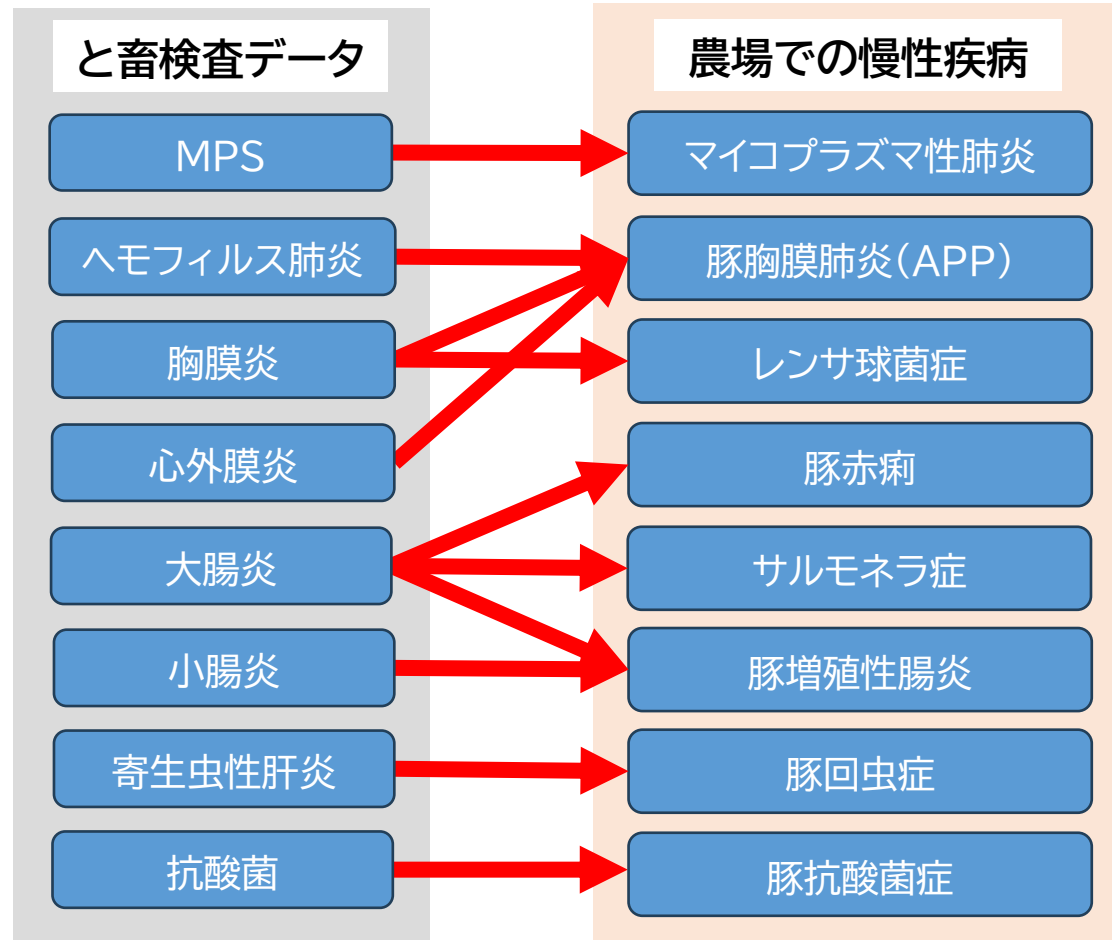


〈 今月の特集 〉

と畜検査データと農場の慢性疾病

農場で発生した疾病の多くは、と畜検査で病変として確認されます。毎月のと畜検査データを活用することで、**慢性疾病対策の効果確認**や**潜在的な疾病の早期発見**につながります。

今回は、毎月のと畜検査データで示されている病変と農場の慢性疾病との関係について紹介します。



と畜検査で分かる主な慢性疾病

と畜検査で確認される病変は、農場で発生した疾病と深く関係しています。例えば、

- ・ 胸膜炎、ヘモフィルス肺炎の増加→豚胸膜肺炎
- ・ 寄生虫性肝炎の増加→豚回虫症
- ・ 小腸炎の増加→豚増殖性腸炎
- ・ 抗酸菌の増加→豚抗酸菌症

などの関係が知られています。

養豚農家の皆様へ

と畜検査で見られる病変は、農場で発生した疾病や飼養管理上の問題を反映する『**疾病の履歴書**』といえます。

毎月のと畜検査データを継続して確認することで、『**慢性疾病対策の効果確認**』や『**潜在的な疾病の発見**』につなげることができます。

と畜検査データで病変の増加や傾向の変化が見られた場合は、かかりつけの獣医師と相談しながら疾病対策や飼養衛生管理の改善にご活用ください。

図：と畜検査データと農場での慢性疾病の関係